

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年12月15日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | |
|-------|-----------------------|---------|--------------|
| 団体名 | 福岡県直方市 | 代表者名 | 直方市長 大塚 進弘 |
| 担当者部署 | 総合政策部 | 連絡先電話番号 | 0949-25-2218 |
| 担当者役職 | 課長・係長 | 担当者氏名 | 山中伸朗・貞光康 |
| 住所 | 822-8501 福岡県直方市殿町7番1号 | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー | 市川 博之 |
| 評価 | 大変よい |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | 2日目と同様に、直方市の最上位計画である、「第6次直方市総合計画」の基本目標を用いながら、直方市の保有するデータを、「オープンデータ化しやすいもの」と「そうでないもの（オープンデータ化に時間やコストがかかるもの）」に分けていくかたちで進めていただいたおかげで、職員にとってわかりやすく、自分毎として受講することができていた。結果として、職員自らが、「すぐにオープンデータ化できるデータ」が数多くあることを認識することができ、今回の研修により、これから本市が「データ利活用・オープンデータの推進」の取り組みを行っていくにあたっての素地を作ることができたと考えている。 |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし。 |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
|-------------|---------------|--------------|--------------|------------|----------|
| | 令和4年11月2日 | 講演(実地) | 有 | 令和4年10月18日 | 322 |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和4年11月30日 | 講演（実地） | 13時00分 | 16時00分 | 10 |
| | | | | 活動時間（分） | 170 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 直方市役所 | 最寄駅 | JR直方駅 | |
| | 所在地 | 福岡県直方市殿町7番1号 | 最寄駅からの交通手段 | 徒歩 | |

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員 | 18人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 昨年度より、全庁を挙げてDX推進の取り組みを行っているが、「EBPM」や「オープンデータ」の推進という面において、組織風土的に弱い部分があり、職員の意識がついてきていない。「官民データを活用した地域づくり」や「オープンガバメント」という意識や組織風土そのものの醸成が課題となっている。 | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | 本市では、今年度「全庁的なデータの棚卸し」を行い、「棚卸しデータの職員間での共有→オープンデータ化の推進」という事業の青写真を描いている。この事業の推進にあたり、①「職員の事業の目的に対する理解を深めてもらう」と同時に、②「データを切り口にした地域づくりや「オープンガバメント」という「マインドセット」を身に付けてもらうこと」を目指している。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | ①データ利活用・オープンデータについての「基本的な考え方」と「好事例の紹介」（講義） ②市民・企業・自治体にとって使えるデータを考える（ワークショップ） ③「②」で考えたデータをカテゴリー別に分ける（ワークショップ） ④「③」に優先順位をつける（ワークショップ） | |
| 支援を受け改善又は解決された内容 | ①データ利活用・オープンデータについての基本的な考え方について、認識を共有。 ②本市の「EBPMの推進」及び「オープンデータ化」に向けて | |

| | | |
|---|---|-------------------------|
| (具体的にご記入下さい) | ◎本庁の「EBPMの推進」及び「オープンデータ」に関して、 ・どのような形式のデータが必要か ・「優先順位の高いデータ」はどのようなものか ・すぐでもオープンデータ化できるデータはどのようなものか について、理解を深めるとともに、対象となるデータの洗い出しができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 現時点では特になし。 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添Excelの通り | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい | ④予算以外で、今後取組む事項がある |
| 事業の最終的な目指す姿 | ①「EBPM」や「オープンデータ」を推進する目的について、職員に「気づき」を与え、②「データドリブンな行政を目指す」というスタンスを身に付けてもらうこと。 | |

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
 なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



